

商業部会

「ビジネス分野」研究会

- 1 期 日 令和3年11月24日(水)
- 2 会 場 五泉ニット複合施設
LOOP&LOOP
(五泉ニット工業協同組合)
ラポルテ五泉
- 3 参 加 8校 14名
- 4 日 程
受 付 13:00~13:20
開 会 13:20~13:30
講 演 13:30~14:10
質疑応答 14:10~14:20
指導講評 14:20~14:30
施設見学 14:30~14:40
移 動 14:40~15:00
施設見学 15:00~15:50
閉 会 15:50~16:00

※感染症対策のため、昼食をはさまず実施



- 5 講 演
演題 「五泉ニットブランド化事業について」
講師 五泉ニット工業協同組合
事務局長 高橋 正春 様
社会経済の変容と市場変化により、産業環境はきわめて厳しい中、五泉ニットの事業者・職人たちは、魂を込めて技術を磨き、高品質な商品を世の中に送り出

し、日本を代表するニット産地を形成している。

未来を担う若手後継者が多く存在し、一貫生産を可能とする五泉の技術力とポテンシャルを活かし、ニット産地のブランド化と競争力を高め、国内外に向けて「五泉といえばニット、ニットといえば日本の五泉」を目指し、次世代に継承することを目標としている。



重点推進としては、①ECサイトを含むダイレクト販売拡大、②五泉ニットブランド認証商品拡大、③海外市場開拓、④SDGsの推進、⑤ニットフェス拡大、⑥組合社屋拠点整備 (LOOP&LOOP)

これらを3カ年計画で実施している。

②については、今治市のタオルが、佐藤可士和さんによるブランディングにより、ロゴをみると「今治産」とわかるため、五泉ニットも「五泉産」がわかるロゴ(右)をデザインし、その認証商品を拡大している。



⑤のニットフェスでは、高校生プロジェクトを取り入れ、五泉高校生が残糸で制作したノベルティを配布しており、今

年で4回目の実施となった。昨年度は感染症拡大により、他のイベントが中止になる中、縮小しつつも工夫して開催することができ、今年に取り組みに繋がっている。年々規模が拡大しており、今後は産業観光に結びつけたいと考えている。

6 指導講評

新潟県立教育センター 教育企画班

指導主事 南部 泰正 様

●「マーケティング」の改定のポイント

従来の「広告と販売促進」の指導項目を、プロモーション政策に整理した。マーケティングに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を取り入れるなど改善された。五泉高校で行っているニットフェスでの取り組みやフィールドワークは、今後必須となる。

●ICT 活用事例

- ・マーケティングで ICT を活用している学校

北海道小樽未来創造高等学校

愛媛県立松山商業高等学校

長崎県立諫早商業高等学校

熊本県立北稜高等学校

資料 社会に開かれた魅力ある商業教育の実現に向けて—Society5.0

時代の新しい商業教育の実践例

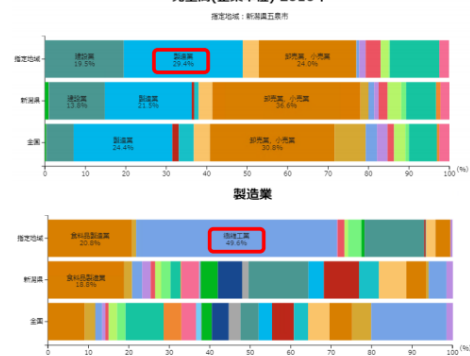
— 全国商業高等学校長協会

- ・RESAS の活用

五泉市を分析し、活用の仕方を説明
例えば、五泉市の企業別売上高に注目すると、製造業が 29.4%を占めており、金額にすると 380 億円である。そのうち繊維産業が 49.6%で、187 億円を占めていることがわかり、五泉市にとって繊維産業は主要な産業であることが、この数値からも言える。

RESASの活用例

売上高(企業単位) 2016年



繊維産業の付加価値額は 1992 年に 373 億円であったが、2018 年には 96 億円と、減少率は 75%にのぼる。このことから、ブランド化事業のような取り組みが必要となった背景も説明ができる。

7 施設見学

- ・五泉ニット複合施設 LOOP&LOOP (五泉ニット工業協同組合)

五泉ニットを購入する場所が無かったことや、県外から視察に来られた方々に歴史ある建物を喜ばれたことから、多くの人が訪れる施設をつくった。これまでニット関係者しか訪れる機会がなかった組合の建物をリフォームした。

- ・ラポルテ五泉

交流人口の拡大を目指し 2019 年に着工された。生涯学習エリア、産業振興エリア、共用エリアに分かれており、憩いと賑わいの新たな拠点、五泉の魅力をまるっと詰め込んだ場所を目指している。

